

プロフェッショナル組織における人的資源管理

専修大学経営学部

蔡 仁錫（チェ インソク）

科学者・研究者などのプロフェッショナルの場合、一般の従業員とはかなり異なるニーズや態度の持ち主として知られている。その最大の特徴は、雇われている組織よりも自分の専門分野や知識、スキルに強くコミットする存在で、組織内でコンフリクトを経験しやすい立場に置かれるという点である。従って、プロフェッショナルを多く抱えている組織における人的資源管理の最大の課題は、組織がいかにプロフェッショナルの持っているニーズや態度に適応しながら、プロフェッショナルのコンフリクトを和らげ、彼（彼女）らの創造性を最大限に引き出すかであろう。そのためには、これまで日本企業が追求してきた組織コミットメント・モデルに基づく人的資源管理から、プロフェッショナル・コミットメント・モデルへと方向転換する必要があると思われる。なぜなら、組織コミットメントをできるだけ高めようとする戦略は、プロフェッショナルの研究成果を高めるばかりか、むしろプロフェッショナルの組織内でのコンフリクトを高め、彼（彼女）ら創造性を阻害する恐れがあるからである。